

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2013-47578(P2013-47578A)

【公開日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2011-185650(P2011-185650)

【国際特許分類】

F 25 B 13/00 (2006.01)

F 25 B 39/00 (2006.01)

【F I】

F 25 B 13/00 R

F 25 B 39/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

温度調整装置Mは、図2に示すように、二系統の熱媒体循環回路Cc, Ch、即ち、圧縮機5を共通にした第一冷凍サイクルCcC(熱媒体循環回路Cc)と第二冷凍サイクルChC(熱媒体循環回路Ch)備える。この場合、第一冷凍サイクルCcCは冷却側となり、第二冷凍サイクルChCは加熱側となる。第一冷凍サイクルCcCは、圧縮機5の吐出口 分流部P 第一調整弁(電子膨張弁)43 凝縮器17 電子膨張弁45 ヘッダ41c 第一熱交換部2c(第一チューブ構成部4c...) 合流部42c 合流部J 圧縮機5の吸入口の経路で冷媒(熱媒体)Kが循環する。第二冷凍サイクルChCは、圧縮機5の吐出口 分流部P 第二調整弁(電子膨張弁)46 ヘッダ41h 第二熱交換部2h(第二チューブ構成部4h...) 合流部42h 電子膨張弁47 蒸発器18 合流部J 圧縮機5の吸入口の経路で冷媒(熱媒)Kが循環する。図3は、温度調整装置Mをより具体化した回路で示したものであり、51, 54, 59は圧力ゲージ、52, 56は圧力スイッチ、53, 57は膨張弁、55, 60はストレーナ、58はアキュムレータをそれぞれ示す。なお、図3において、図2と同一部分には同一符号を付してその構成を明確にした。

【手続補正2】

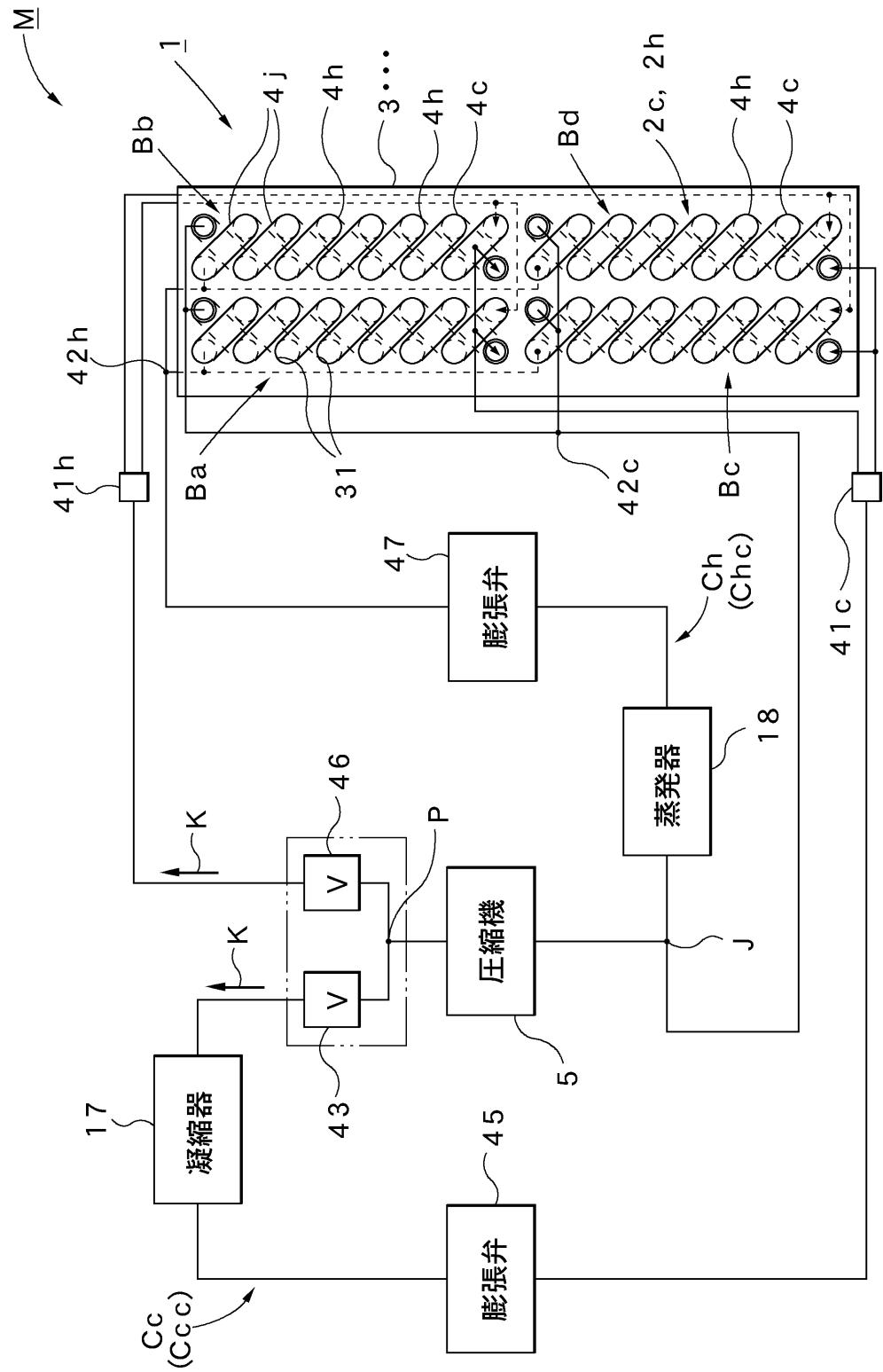
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 】



【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

